



昨年応募した第48回全国児童・生徒木工工作コンクール（日本木材青年団体連合主催）中学校の部で最高賞に輝き、今年6月に表彰を受けた。ものづくりに関心があり、現在は横手清陵学院高校で技能資格の取得やロボット作りの部活動に励んでいる。

## 木工工作の全国コンクールで部門最高賞

小松 湊 悟 さん(15)

横手市寿町

# ものづくり究めたい

を夢見ることで、材料の大きさや形状に応じて柔軟に作業ができる。工具を収納できる引き出しも取り付けた。

昨夏に2カ月ほどかけた

て制作。全国から3部門に計1万5437点の応募があったコンクールで、全体の最高賞に次ぐ部門最高賞に選ばれた。

「自分で使いたくなるような作業台を目指し

た。高く評価してもらいうれしい」と笑顔を見せる。

若い頃に見たアニメが工作にのめり込むきっかけになったという。蒸気機関車が活躍する内容に



木工工作コンクールで部門最高賞に輝いた作品を紹介する小松さん

夢中になり、次第に模型を作り始めた。現在も、木の端材や工作用紙で精巧なミニチュア機関車を作るのが趣味になっている。木工工作のほか、ロボット競技のプログラミングなどにも取り組んできた。

「完成したときの達成感や工夫する面白さがたまらず、気付けばいつも何かを作っている。大好きな工作を究めて将来の仕事に生かしたい」と話した。

（佐藤悠大）  
〈随時掲載〉